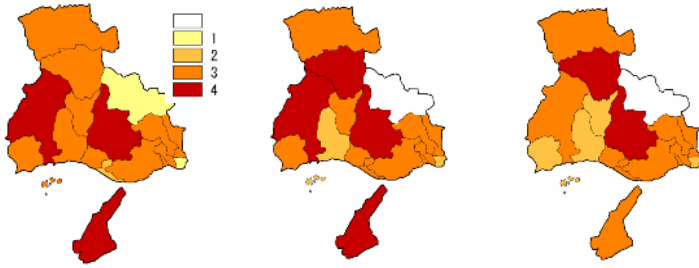


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

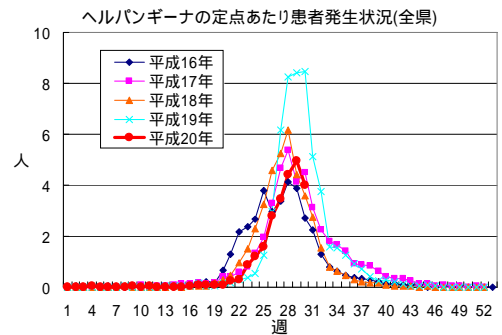
定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

ヘルパンギーナ

今週報告数は減少しました。もうしばらく患者数の多い状況が続くと予想されます。社、和田山保健所管内の報告数が例年より多くなっています。



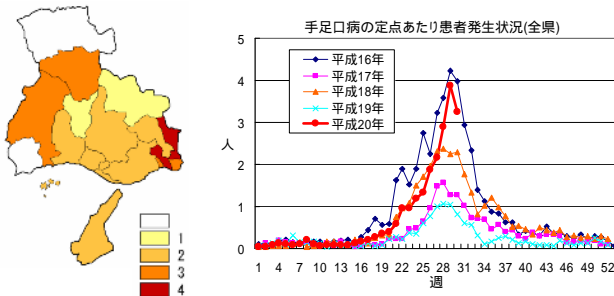
28 週 (7/7 ~ 7/13) 29 週 (7/14 ~ 7/20) 30 週 (7/21 ~ 7/27)



その他の感染症の概況

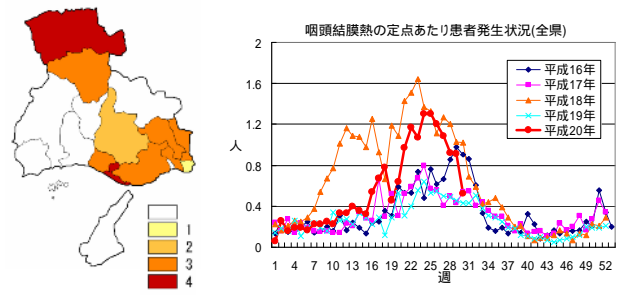
手足口病

今週、報告患者数は減少しましたが、過去 5 年間のうちで 2 番目に報告数が多い状況です。代表的な夏型の感染症であり 7 月をピークに 8 月頃まで多い時期が続きます。



咽頭結膜熱

今週、報告数が大きく減少しました。流行のピークは過ぎたと思われますが、明石、豊岡保健所管内で報告数が例年より多い状況です。



定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

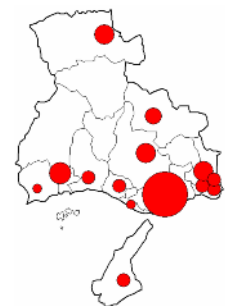
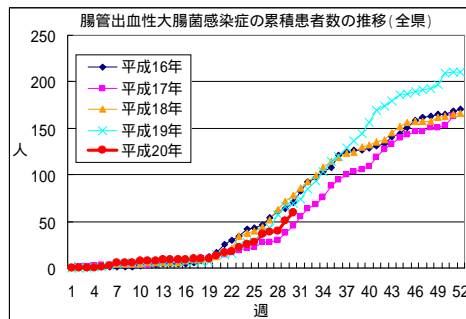
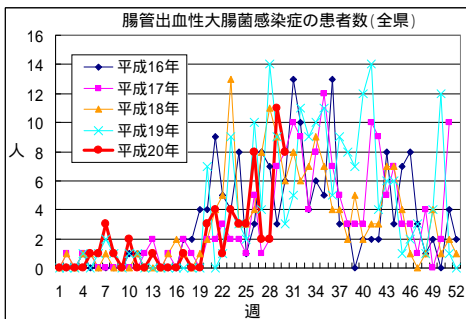
	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	ヘルパンギーナ	3.98	4.94	- 0.96	6位	A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.67	0.81	- 0.14
2位	手足口病	3.25	3.88	- 0.63	7位	流行性角結膜炎	0.66	1.40	- 0.74
3位	感染性胃腸炎	3.05	3.53	- 0.48	8位	咽頭結膜熱	0.52	0.91	- 0.39
4位	水痘	0.81	1.27	- 0.46	9位	流行性耳下腺炎	0.36	0.48	- 0.12
5位	突発性発しん	0.78	0.88	- 0.10	10位	無菌性髄膜炎	0.25	0.25	± 0.00

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 16名（神戸市10名、尼崎市1名、姫路市1名、西宮市1名、伊丹保健所管内1名、明石保健所管内1名、龍野保健所管内1名）
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 8名（神戸市1名；0157 VT2+、姫路市1名；0157 VT1+、宝塚保健所管内1名；091 VT1+、龍野保健所管内3名；0157 VT2+、柏原保健所管内1名；0157 VT2+、洲本保健所管内1名；0157 VT2+）
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	アメーバ赤痢 1名（加古川保健所管内） 後天性免疫不全症候群 1名（AIDS） 梅毒 1名（神戸市；早期顕症梅毒 期） 麻しん 4名（神戸市1名；11歳/臨床診断/ワクチン接種歴無/家族内感染、西宮市2名；17歳/臨床診断/ワクチン接種歴不明、19歳/臨床診断/ワクチン接種歴1回有（2歳時,MMR ワクチン）/学校内感染（推定））、柏原保健所管内1名；15歳/修飾麻しん/ワクチン接種歴1回有（1歳時,麻しん単抗原））
追加報告	結核 9名（尼崎市1名；第29週、姫路市1名；第21週、明石保健所管内1名；第29週、加古川保健所管内2名；第29週、社保健所管内4名；第29週） 腸管出血性大腸菌感染症 1名（伊丹保健所管内；第29週/0157 VT1+VT2+） ウイルス性肝炎 1名（神戸市；第29週/B型）

腸管出血性大腸菌感染症

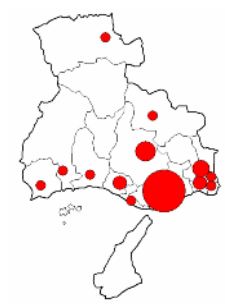
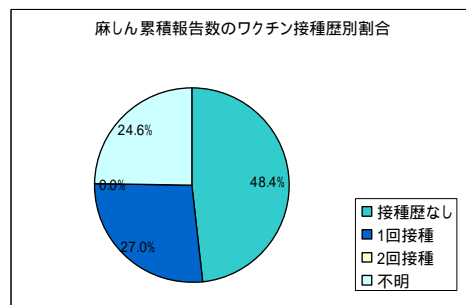
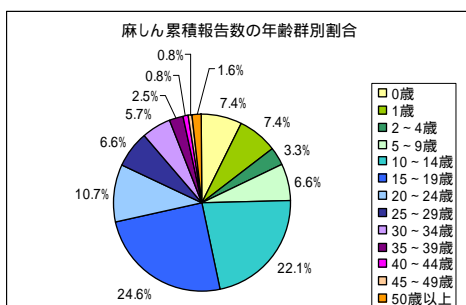
今週は8名の腸管出血性大腸菌感染症の報告がありました。第30週現在の累積報告数は59名で、阪神間からの報告が多い状況です。夏の暑い日が続いており、腸管出血性大腸菌感染症や食中毒などの多い時期となっています。予防のためには、調理・食事前、トイレ後や動物との接触後の十分な手洗い、肉などの十分な加熱調理、生肉（ユッケ、生レバーなど）を食べないことなどが大切です。



1～30週の累積患者数による

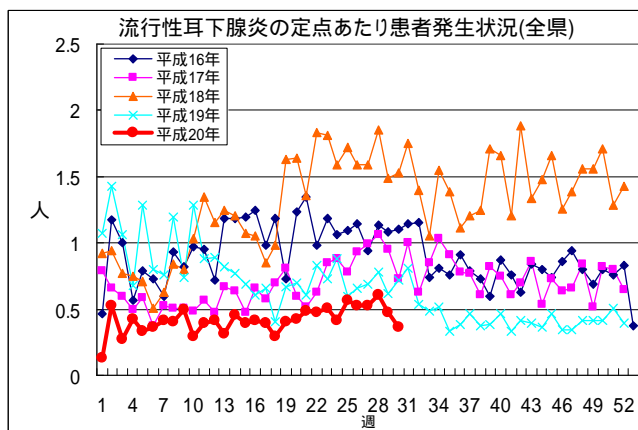
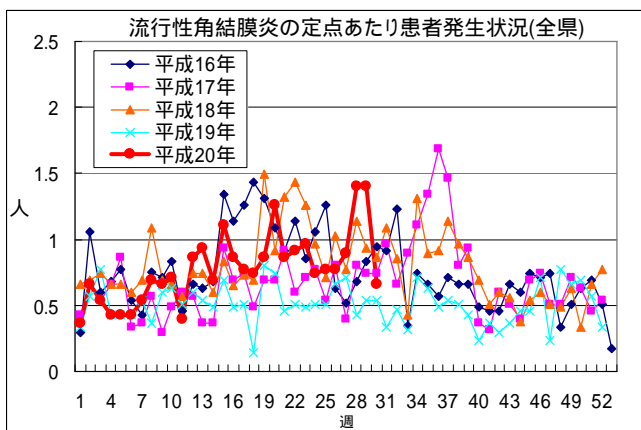
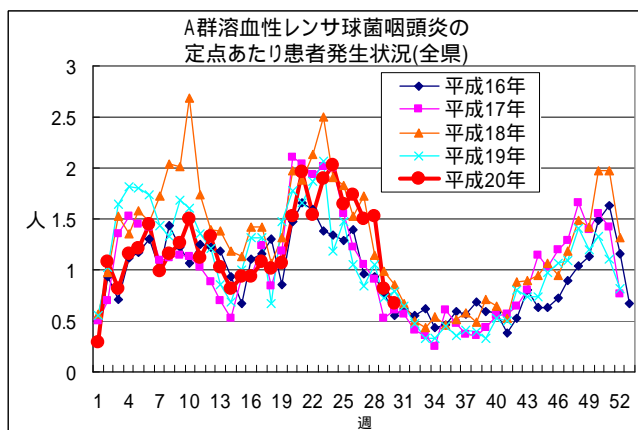
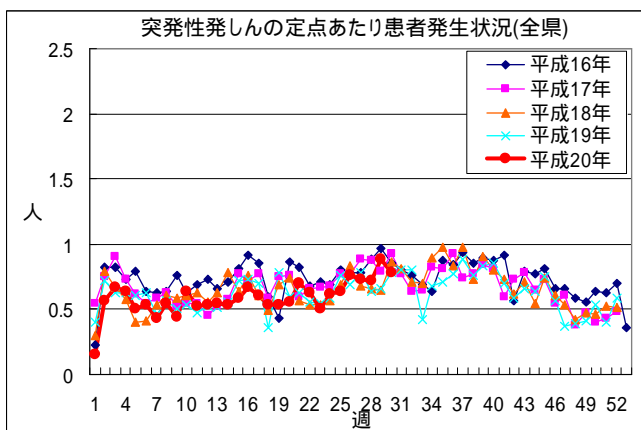
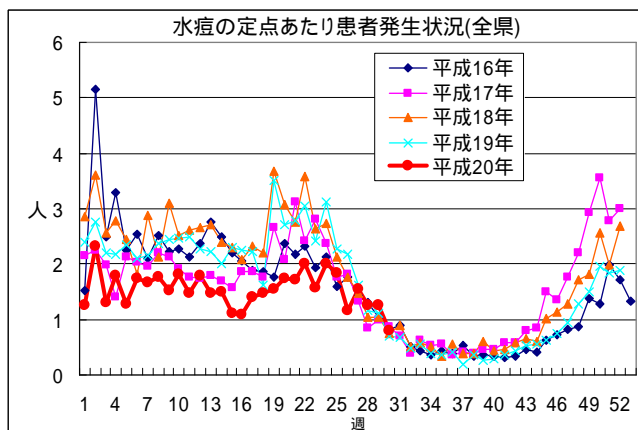
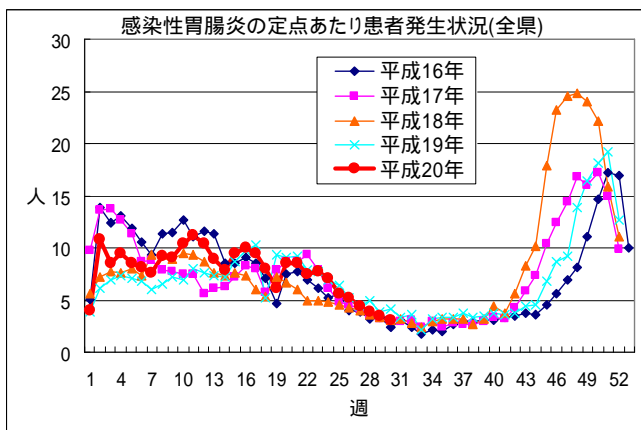
麻しん

今週4名の報告がありました。第30週現在、兵庫県における麻しんの累積患者数は122名となっています。地域別には、神戸市からの報告数が半数以上を占め、その他阪神間からの報告が多くなっています。年齢群別では10～14歳27例（22.1%）、15～19歳30例（24.6%）、20～24歳13例（10.7%）と10～20代前半からの報告が半数以上を占めています。有効な予防方法はワクチンの接種であり、麻しん未罹患、ワクチン未接種、1回のみ接種の人は、ワクチンの接種が勧められます。



1～30週の累積患者数による

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。